

授業科目 韓国語Ⅰ

【担当教員名】 朴修禧、林河運、李点順	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・栄養・林・社会・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語によるコミュニケーションの能力を身に付ける。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 1 ハングル文字が読める。
- 2 平易な韓国語の文章が理解できる。
- 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。
- 4 簡単な日常韓国語が話せる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	韓国語とは？ 韓国語の文字の特徴を理解する。		講義と演習
2	基本母音字 基本母音の書き方と発音を学ぶ。		講義と演習
3	基本子音字 基本子音の書き方と発音を学ぶ。		講義と演習
4	濃音について 濃音の書き方と発音を学ぶ。		講義と演習
5	合成母音字について 合成母音字の書き方と発音を学ぶ。		講義と演習
6	終声について 終声の発音を学ぶ。		講義と演習
7	発音のルール 発音のルールを学ぶ。		講義と演習
8	基本文型練習 1 「AはBです」・「AはBではありません」という表現を学ぶ。		講義と演習
9	基本文型練習 2 指示代名詞と疑問表現を学ぶ。		講義と演習
10	基本文型練習 3 疑問表現と数字の表現を学ぶ。		講義と演習
11	基本文型練習 4 用言の丁寧な表現を学ぶ。		講義と演習
12	基本文型練習 5 用言の否定形と「AからBまで」という表現を学ぶ。		講義と演習
13	基本文型練習 6 助数詞と位置を表す表現を学ぶ。		講義と演習
14	基本文型練習 7 日常会話でよく使う丁寧な言い方を学ぶ。		講義と演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	適宜ハンドアウトを配布する			

【評価方法】 出席・授業中の態度・定期試験などから総合的に判断する。	【履修上の留意点】
---------------------------------------	-----------

全科共通科目 基礎教養